

3月定例議会の審議結果

3月定例議会では、平成28年度の予算のほか、補正予算や条例の改正などについても慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。

発議

副議長不信任を可決

数々の不手際や法や条例に抵触し、侮辱、愚弄し混乱を招いたり、不当発言や行動が町議会に悪影響を与えているなどの理由で、西山副議長に7名の提出者から不信任決議案が提出され、賛成多数で可決しました。

議長不信任を可決

昨年12月議会以降も不適切な判断を繰り返して、議会の混乱を繰り返しているなどの理由で、久留島議長に7名の提出者から不信任決議案が提出され、賛成多数で可決しました。

反対討論

議会は一致団結して新しい町長を盛り上げるべきである。不信任案を毎回出すことは、議会の混乱を招く。
多田雄一 議員

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防及びその危険性や子後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書案を可決

脳しんとうは、軽度の外傷性脳損傷であり、重篤な症状を引き起こす場合もある。国においては、教育機関での周知徹底と対策、専門医による診断と適切な検査の実施、周知啓発・予防措置の推進と相談窓口の設置など、適切な措置を講じられるよう、強く要望する。

公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める決議案を可決

自治体が発注する公共工事や委託事業において、ダンピング受注が激化し、そのしわ寄せが労働者の賃金低下となっている。よって、町が発注する公共工事や業務委託について、適切と考える賃金報酬が労働者に確実に支払われるよう、公契約条例の制定に向けた検討を行うよう強く求める。

電気設備工事の分離発注を求める決議案を可決

公共事業における建築設備工事の分離発注制度は、電気工事業に携わる者に専門工事業者としての誇りと自覚を与え、技術の向上、優良な地元業者の育成と企業経営の健全な発展にとっても不可欠な大きな支えとなっている。電気設備に係る公共工事の入札に当たっては、分離発注の継続など、特段の配慮がなされるよう決議する。



一致団結しよう

賛成討論

委員会において、許可されていないにもかかわらず、発言を続け、退場処分となったことは不信任に値する。
住吉秀公 議員

反対討論

副議長は何ら無責任な行動は取っていない。また、不信任となる程の条例や規則違反もしていない。
大江康子 議員

条例改正

新たな常任委員会を設置

予算を継続的に審議するため、常任委員会を設置しました。これにより、議会の監視機能が強化されます。(7~9ページに関連記事があります。)

議会基本条例

平成25年4月に施行した議会基本条例について、条例の目的が達成できているかどうか検討する時期を変更しました。

改正前

議員の一般選挙後、速やかに

改正後

必要に応じて

人事案件

副町長の選任に同意

平成28年3月31日をもって三宅信行副町長及び中村弘市教育長が辞職されることに伴い、新たな副町長の選任・教育長の任命について同意しました。

予算委員会

委員長 **住吉秀公** (すみよし ひでまさ)

副委員長 **宮坂 二郎** (みやさか じろう)

副町長紹介

略歴

昭和57年に広島県に採用され、福山土木建築事務所を振り出しに、議会議務局秘書課長、議務局地方分権推進課長などを歴任。
広島市西区在住。

えびすりょういち 胡家 亮一さん (56歳)

教育長紹介

略歴

昭和59年4月から佐伯郡沖美町立沖中学校教諭を振り出しに、広島県西部教育事務所副所長、尾道市立土堂小学校長などを歴任。
広島市中区在住。

たさか ゆういち 田坂 裕一さん (55歳)

教育委員の任命に同意

任期満了に伴い、教育委員会委員に米丸禎宏さんを新たに任命することに同意しました。

協約締結

広島市と海田町との連携中核都市圏形成に係る連携協約を可決

広島市都心部から60km圏内の23市町が都市連盟とも言うべき信頼関係を築き、地域の資源を共有し、活かして施策展開を図ることで、経済を活性化し、圏域人口200万人広島都市圏構想の実現を図るための連携協約の締結が提出され、賛成多数で可決しました。



広域都市圏です

反対討論

今回の協約は、道州制への道筋をつける狙いがある。また、国や県が財政の削減のために進めるもので、町にとって利益はない。
岡田良訓 議員

賛成討論

協約の締結により、病児・病後時保育などが町単独では実施することができないものが利用可能となり、住民福祉の向上につながる。
住吉秀公 議員